

第1期白馬村こども計画(素案)に対する意見募集の結果と対応について

1 意見募集対象

第1期白馬村こども計画(素案)

2 パブリックコメントの実施状況

(1)意見募集期間 令和7年1月17日～令和7年2月15日までの30日間

(2)意見の応募者数 1名(男性 0名、女性1名)

意見数 3件

(3)提出方法の内訳

	持参	郵送	ファクシミリ	E-メール
人数	0	0	0	1

3 第1期白馬村こども計画(素案)に対するパブリックコメントの結果と対応

番号	指摘箇所	ご意見	ご意見に対する村の考え方	計画素案の修正の有無
1	多様な保育・教育の場づくり 37ページ	○村内での病児保育の設置 人手不足のなか、なかなかむづかしい課題ではあると思います。ですが9割の母親が働いているという白馬村ではなくてはならない病児保育です。 またおよそ半分の家庭が、いざという時に子供を見てもらう家族が近くにいない、ということなので、多くの共働きの家庭で苦労されていると思います。 大町の病児保育まで行くのは現実的ではないのが現状ですし、いざ利用しようと思っても保育園に行っているにもかかわらず1歳未満の受け入れができず私自身困りました。	○ご意見として承ります 現在は、大北地域の5市町村が加盟している、大北地域連携自立圏で運営を行い、市立大町総合病院内に設置して病児・病後児の事業を実施しており、白馬村単独での設置は難しい状況です。	無
2	子どもの居場所・遊び場づくり 40ページ	○小さな子供の遊び場の整備 特に冬場は、室内での遊び場が必要です。	○遊び場の整備を行います 現在、子育て支援施設建設を予定しており、その建設に合わせて整備いたします。	無

(注)いただいたご意見を原文のまま掲載しています

番号	指摘箇所	ご意見	ご意見に対する村の考え方	計画素案の修正の有無
3	その他	○保育園年少以上の白ご飯持参について、白ご飯を保育園で提供していただきたい。 先日白馬村に対して夫から意見をお送りした内容と同じです。 国内でも一部の地域では昔からの慣例で、白ご飯を各家庭が用意することがあることは理解しています。 ただ、おそらく戦後の政府補助の関係でスタートしたこの慣例を今も続けているのは大きな疑問でしかありません。 仕事をする両親にとっても、白ご飯を用意し弁当箱を洗うことは負担であり、子供にとっても炊き立ての白ご飯をたべられないですし、デメリットが多いです。 保育園の先生に理由を尋ねても、答えは明確でなかったので、「ただ昔から続けているから」という村内での意識なのかな、と感じました。 都会の保育園では考えられないことと、移住者にとってはデメリットにしかうつりません。 副菜は作ってくださるのに、白ご飯の提供が導入できないということはないと思います。 また、保育園では積極的な食育を進めているのに、白ご飯は炊きたてを食べられない、というのはいまいち理解ができません。 もちろんこれまでより、村や保育園の負担は増えるかもしれませんが、解決は難しくないと思っています。	○子どもたちにとってより良い方向になるために、検討いたします。 ご意見ありがとうございます。主食(白ご飯)の提供を行うには、調理器具、食器やその保管庫の準備や調理室の増築、調理員の増員等諸々の対応が必要となり簡単に解決は出来かねます。 また、保護者の皆様に主食代のご負担が増える事も考えられます。 今後の対応について保育園の保護者会も交えて検討いたします。	無

(注)いただいたご意見を原文のまま掲載しています